

## 活動報告

団体名	MAKE HAPPY
活動名	令和2年豪雨災害で被害にあった人吉市を中心とした被災者の為の生活と地域の復興事業
活動期間	2020/07/05～2021/05/31
活動の成果	<p>1：被災家屋保全の為の内装解体や消毒、家財搬出などの作業系活動 7月末までに家屋保全の為の壁剥がしや、床剥がし洗浄消毒作業を行いました。うち14件が7月末までにリフォームが終わり被災者さんがご自宅に戻ることができたり、被災店舗も営業が再開でき、新しい生活を始めることができています</p> <p>2：ボランティアの活動を支えるサポート 定期的に活動に参加している方々に、浸水時の壁の剥がし方や床の剥がし方、電気工具の安全な使い方、作業を行う基準などの講習を現場の作業を通し行っていました。講習を行ってきた事で、熊本の仲間だけでも活動を行えるようになり、今後、災害が起きた時に、自ら動くリーダーを育てることができました。</p> <p>3：地域コミュニティの再建活動 当初予定していた定期的なサロン活動ですがコロナの感染拡大のためサロンを開催することができませんでしたが、6月25日より上薩摩瀬町公民館の運営を行うこととなり、地域コミュニティの再建活動をスタートすることができました。</p>
寄付者へのメッセージ	<p>いつも赤い羽根へのご寄付をありがとうございます。私たちボランティア団体は、急な災害時、この助成のおかげで支援活動が行う事ができ、本当に助かっています。今までに各地で被災された住民さんに対し、より近くより力になれるように活動してきましたが、令和2年7月豪雨災害はコロナ禍で初めての災害となりました。コロナの影響で不特定多数のボランティアの受け入れが難しく、限られた人数での活動となり支援活動が長期化したこと、そして、被災地にコロナを持ち込まない、蔓延させない事を徹底する為に、PCR検査や抗原検査を定期的に行い活動を行う事で今までの災害支援と比べ、費用面に置いても運営を継続していく事が難しく、厳しい状況にありました。そのような、状況の中、赤い羽根に寄付していただいた皆様のおかげで助成を受け、コロナの蔓延防止の対策を取りながら、被災者支援を継続する事ができました。今回の災害は「浸水被害」と「コロナ」という二重の災害となった中、住民さんの気持ちを汲み、少しでも不安が小さくなるよう丁寧に丁寧に活動でき被災者さんのお家をだけでなく、心も明るくできたのもご寄付いただいた皆様のおかげです。寄付していただいた皆様の力が確実に被災地の復興に繋がっています。本当にありがとうございます。</p>

(活動のようす)

